

だんだんお花畑プロジェクトin 玉城町

満開の花畑で里地里山保全の手助けを!

このプロジェクトは、三重県玉城町世古地区の里地里山保全の取り組みの一環として活動を行っています。

この活動では、元々遊休農地であった広大なだんだん畑を活用して花畑を作るため、花壇やプランターで花を育てるのは一味違う体験ができます。自然が好きな方や、地域の自然に興味がある方におすすめの活動です。

TEAM DATA

メンバー数：6名
活動場所：玉城町
実施主体：清し有田佐田沖環境保全会
担当教員：池山 敦（教育開発センター）
活動年度：H30, R01, R02, R03, R04

📣 こんな人におすすめ!

- ・自然が好きな人
- ・広い畑での作業に興味がある人
- ・人との交流が好きな人

月別活動

(4月) ガーデニングコンテスト・フォトコンテスト

(5月) ガーデニングコンテスト・フォトコンテスト
フォトコンテストの一次審査

(6月) フォトコンテストの最終審査

(10月) 植栽計画図作成

(11月) 花の種まき、他のグループの畑作業手伝い



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度もこのプロジェクトは、昨年度から準備してきていたガーデニングコンテストとその関連イベントの開催、付随するフォトコンテストの審査から始まりました。2022年の4月16日～5月8日のイベント期間中に会場には約1,500人の来場者があり、ガーデニングコンテストの総投票数は538票、フォトコンテストにはFacebookとInstagramの投稿を合わせて255点の応募が集まりました。今年度も多くの人々に花畑を様々な形で楽しんでいただくことができました。

また、秋からは来年度のガーデニングコンテストに向けての播種作業を主として活動を行いました。ガーデニングコンテスト参加団体の播種作業の補助に入るのに加え、プロジェクトメンバーもこのコンテストの参加団体の1つとして花畑の一区画分の植栽計画を考えて播種作業を行いました。ガーデニングコンテスト参加者の方々と交流を楽しみつつ、子ども達やお年寄りの方とのコミュニケーションから学ぶことも多く、大学内での活動ではできない経験をする良い機会となりました。

2月～3月にかけては、来年度のガーデニングコンテスト及び関連イベントの会場設営などに携わる予定をしています。次の春に行うイベントにより多くの人に訪れてもらって、たくさんの人に花畑を楽しんでいただく。ひいてはこれが里地里山の魅力を見つける1つのきっかけになるよう、積極的に準備に取り組んでいきたいと考えています。

活動を通して学んだこと

この活動を通して、様々な学びや力を身に付けられたと感じます。まず、多人数で声を掛け合いつつ協力して体力のいる作業を行うことで、助け合いの大切さとそれによって生み出される力の大きさをもっと学ぶことができました。また、限られた時間の中で多くの作業工程を無事に最後まで終わるための適切な役割分担の重要性も身に染みて感じました。それに加え、地域の方や子供たちとの会話や里山などの地域の自然とのふれあいを通して、里山や地域の自然を維持することの大切さや、里山からの人離れ・管理する人手の不足といった現状も知ることができ、里山を取り巻く環境について今一度考える良い機会となりました。

実施主体からのコメント

清し有田佐田沖環境保全会
ご担当者様

プロジェクトのメインとなる里山ガーデニングコンテスト(4/16～5/8)はコロナ禍の制約の中で約1,500名の来場者があり盛會裡に終了しましたが、開催前のベンチ塗装や看板立てなどの会場設営準備ほか、関連イベントのフォトコンテストの審査にも携わって頂きました。

さらに11月には今年のコンテスト参加者として、植栽計画の作成や花種の播種作業を実施したほか、播種作業においては、他の参加者のお手伝いに携わるなかで、子ども達やお年寄りにもしっかりと寄り添いながら作業をして頂き感謝しています。これから、4月のコンテスト開催に向けての協議・準備がはじまりますが、若い世代にも里地里山の魅力をアピールできるイベントとなるよう積極的に関わって頂くことを期待しています。

担当教員より

教育開発センター 池山 敦

近年では、里山の荒廃が原因で集落近くの農地でも獣害が発生していることが多くなっているとわれています。その里山近くにある休耕田に人が入り、ガーデニングを行うことは環境保全のためになるとともに、獣害対策の一環ともなっているといます。この活動では、実施主体のこれまでのしっかりした取り組みをベースに、企画立案にとどまらず、現場で体や手を動かすことで、キャンパスではできない様々な体験をさせていただいていると思っています。今年も美しい花畑を見せていただくのを楽しみにしています。

成果物 / 制作物

